

# 平成26年度和歌山県文化功労賞

みなと ひろし  
**湊 宏**

住 所 和歌山県西牟婁郡白浜町  
出身地 和歌山県西牟婁郡白浜町  
生年月日 昭和14年2月8日

## ◎ 業績及び経歴

昭和14年白浜町に生まれる。幼少期より貝類に関心を持っていた氏は、高等学校教員のかたわらで、陸産貝類（カタツムリ）の研究に力を尽くし、1ヶ月に一本のペースで論文を書き続け、平成6年に京都大学より博士（理学）学位を授与された。田辺工業高等学校長を経て平成6年に日高高等学校長となり、平成11年同校を定年退職した後は、一層本格的に研究に取り組み、これまでに102種類の新種を発見、発表してきた。

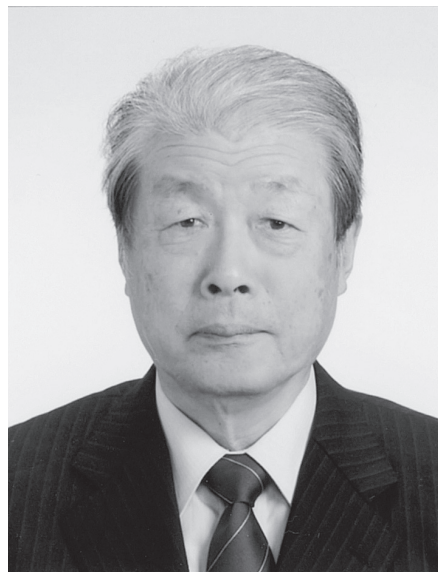
現在は、日本貝類学会評議員を務め、また、環境省の絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会検討委員として尽力、環境省レッドデータブック〈陸・淡水産貝類〉執筆者としては、初版から始まり、平成17年改訂版、さらなる改訂版に連続して関わっている。国内で広く陸産貝類研究の第一人者として知られ、全国放送テレビ番組にも出演しているところである。

また、和歌山県においては、和歌山県レッドデータブック改訂時に、委員として、さらに陸産貝類・淡水産貝類部会長として、和歌山県の貴重な陸産貝類・淡水産貝類のリストアップを行った。和歌山県立自然博物館アドバイザーとしても、提案、助言等をし、さらに、公益財団法人南方熊楠記念館の評議員としても尽力している。

主な著書として、「生き生き動物の国 カタツムリ」「日本陸産貝類総目録」等があるほか、「日本産土壌動物－分類のための図解検索－」「改訂新版世界文化生物大図鑑 貝類」等の分担執筆がある。

氏は、地域住民や来訪者に対する自然教育を通して、自然保護思想の普及、生物の保護にも尽力し、「カタツムリ先生」として親しまれている。

長きにわたり、陸産貝類（カタツムリ）の研究・調査・保護に尽力してきた功績は誠に多大である。



## ■ 現 在

日本貝類学会評議員  
環境省絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会検討委員  
環境省希少野生動植物種保存推進員  
公益財団法人南方熊楠記念館評議員

## ◆ 主な表彰歴等

昭和53年 和歌山県教育研究奨励賞  
平成20年 「みどりの日」自然環境功労者（調査・学術研究部門）環境大臣表彰